

研究主題

表現する楽しさを味わう子の育成

目的

～ICTの効果的な活用を通して～
日常的にICTを活用することで、授業力の向上を図ると共に、児童の表現力を育成する。

研究が始まったころ

ランチルームの電子黒板

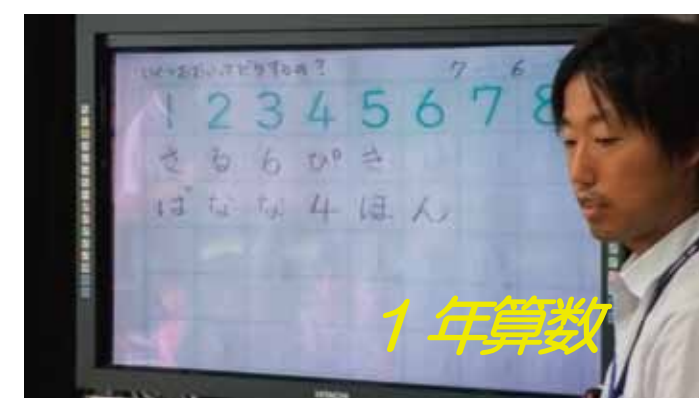
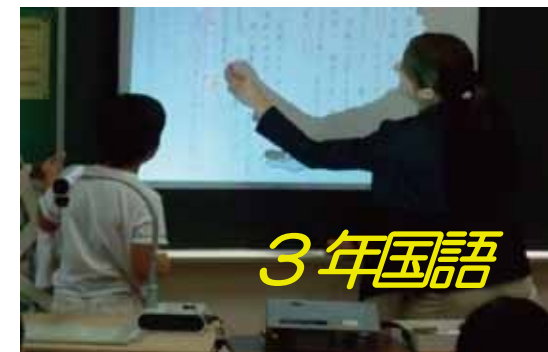


準備が面倒 何ができるかわからない

助成金の活用

実物投影機を全教室に常設

実物投影機常設後



実物投影機は便利で使いやすい。

1年目 分かる授業

ICT活用の目的を分類
授業の流れに沿って目的意識をはっきり
と持つこと。授業の流れを意識すること。

A興味・関心の喚起

B説明の補助

ICT活用の
目的を分類

E繰り返し・習得

D思考の視覚化

指導案の工夫・拡大提示と焦点化
「何の目的」で「何を映し」、その時に「何と発問」
するかを明確にし、有効活用につなげる。

何の目的で？

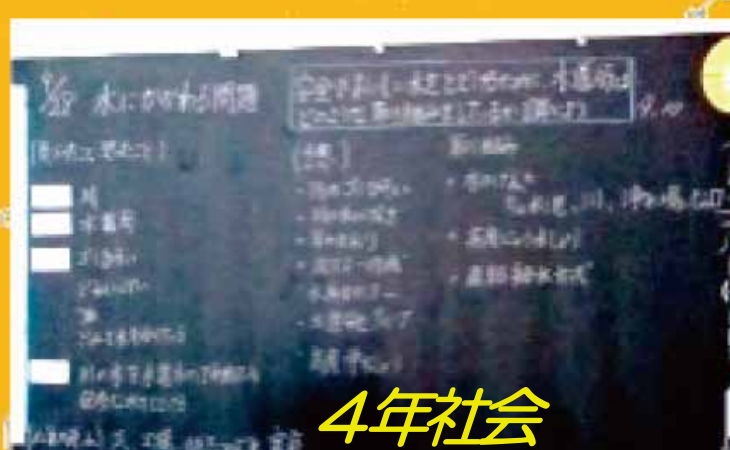


何を映すか？

何と発問するか？

ICTの活用
★活用目的・方法「発問」
★C情報の共有
・実物投影機で、前時の
図のノートを映し、前時
を振り返り本時の学習
につなげる。
「どんなことが分かって、
どんな疑問がありましたか。」

ICT活用と板書計画
何を映すか、何を残すか、授業の目標から明らかにする。



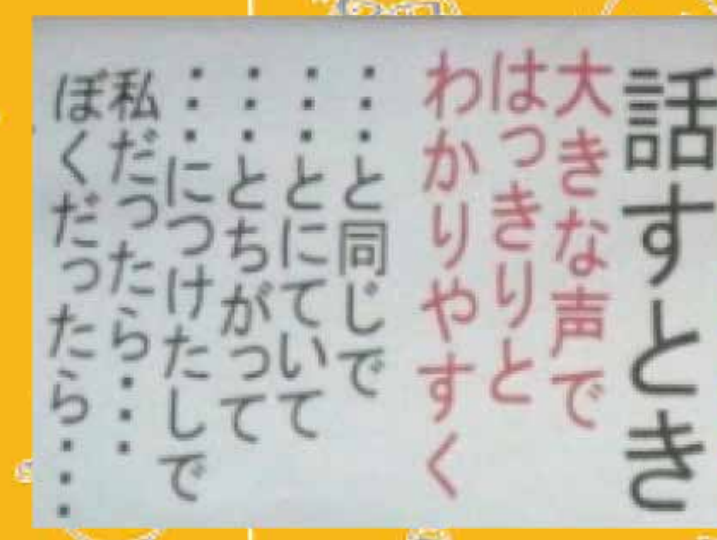
実物投影機を使った授業に 対する児童の反応

実物投影機を使った授業は、
何をしているか・何をすれば
いいかが分かりやすい。

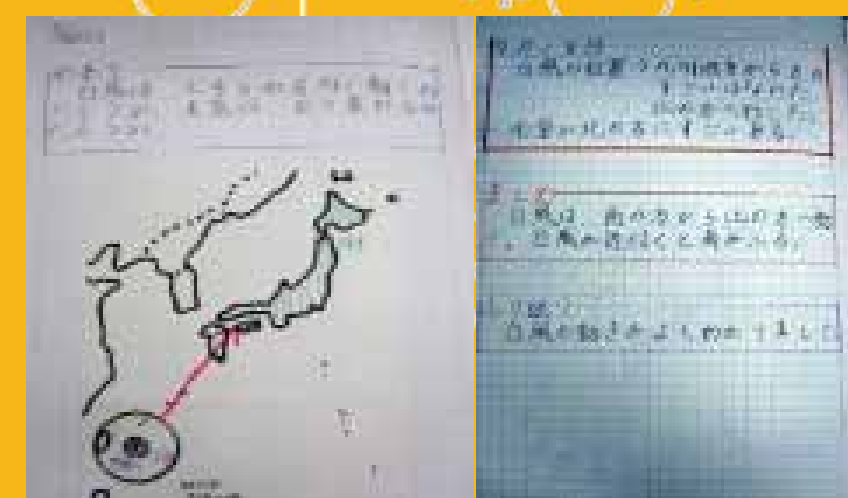


2年目 表現する授業

発表の仕方を全校で共通理解



ノート指導
めあては青まとはめは赤を全校で統一



表現活動を増やす
1時間の中に表現する活動をこまめに
取り入れる。



児童もICT活用
必要に応じて、児童もICTを
活用する。



よりよい授業を
めざしたい

実物投影機に
頼りすぎず、発問や板
書を見直そう

デジタル教科書や
フラッシュ型教材も
使ってみよう。

子供たちにも
どんどんICTを使
わせよう。

活発になった表現活動

二人組やグループによる活発な話し合い・実物投影機を使った説明や発表



実際に折り紙を折る方法を
説明する。

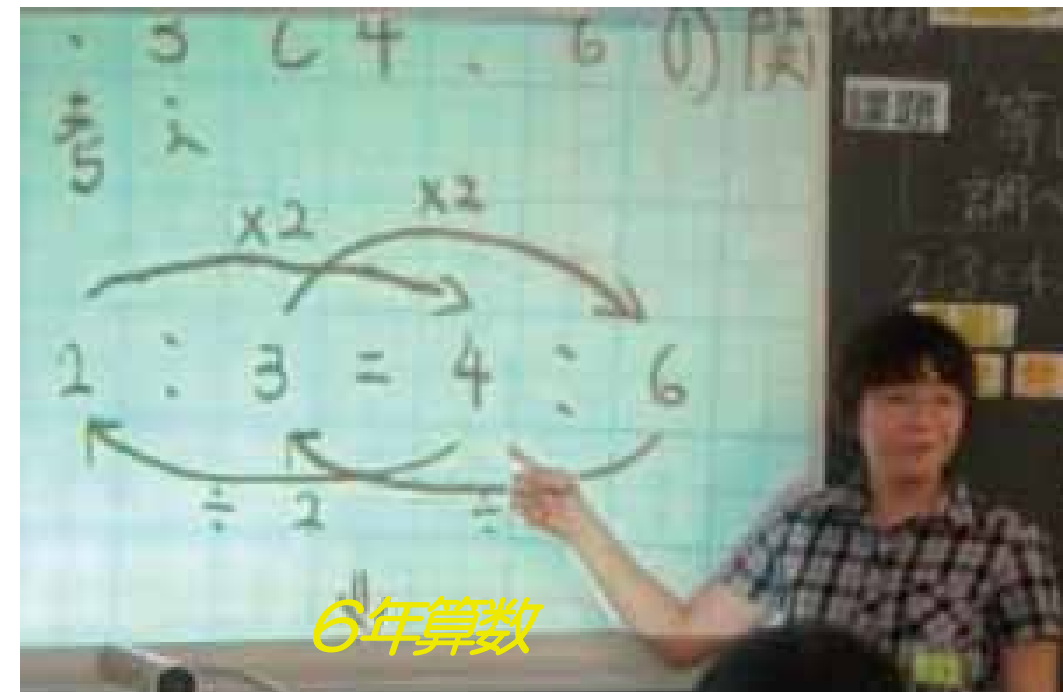


観察カードの見たいたいところを大
きくして発表



自分のかいた図を見せながら発表
する。

友達の考えを話そう。



グループで考えを述べ合う。



隣のグループで考えを伝え
合う。



「全ては子供たちのために」と全校が一つになって取り組んだ校内研究でした。
2年間に指導いただいた堀田先生、パナソニック教育財団の皆様。ありがとうございました。